

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和6年第1回東広島市国際化推進プラン審議会
開催日時	令和6年6月11日（火）10:00～12:00
開催場所	東広島市役所本館3階 303会議室
出席者氏名	本田委員、杉本委員、村岡委員、西田委員、福永委員、兼森委員、赤木委員、カオ委員、小川委員、中西委員、佐々木委員
欠席者氏名	小松委員、高良委員、奥村委員、友保委員
事務局職員氏名	生活環境部 中村部長、市民生活課 岩國次長兼課長、松井課長補佐兼国際交流係長、鈴木主任、若村主事
会議次第	1 開会 2 諮問 3 議事 （1）本市外国人市民の状況 （2）第3次東広島市国際化推進プラン実施事業の進捗状況（令和5年度分） （3）第4次東広島市国際化推進プランの策定方針 （4）外国人市民アンケート（案） 4 その他 （1）今後のスケジュール（案） 5 閉会

議事内容（要旨）	
事務局	・開会
市長	<p>《挨拶》</p> <p>本日はお忙しい中本審議会にご出席いただきお礼を申し上げます。</p> <p>本市の外国人市民数は、5月末時点で8,875人の方が在住しており、その比率は約4.7%と過去最高を更新した。その比率は広島県内はもとより、中四国地方において最も高い比率であると思われる。</p> <p>在留資格別では、永住者に加え、留学生や技能実習生を中心とした増加が続き、国籍別では、中国やベトナムなど、アジア圏を中心に110か国を超える国々から集まっている。</p> <p>こうした多種多様な国々の文化・言葉・習慣に溢れた、国際色豊かなまちであることは、本市の大きな特徴であり強みである。</p> <p>外国人政策に関しては、先月21日に技能実習に代わる外国人材受け入れの新制度である「育成就労」を創設する入管難民法と技能実習適正化法の改正案が衆議院本会議で可決され、今国会中に成立の見通しとなっているほか、本市では半導体企業の事業拡大に伴う海外技術者の増加など、外国人市民を巡る環境は大きな転換期を迎えている。そうした中、本市が、世界の人々から選ばれるような魅力あるまちとして認識されることは重要な課題である。</p> <p>これまで、令和2年6月に策定した「第3次東広島市国際化推進プラン」のもと各種事業に取り組んできたが、そのプランの期間満了を控える中、国の政策転換を踏まえ、本市の特長を活かした新しいプランをともに作り上げていくために、皆様にお集まりいただいた。</p> <p>各委員の立場で、専門的見地からのご意見、ご助言をいただき、審議を重ねる中で、今、そして続く未来に相応しい、新たな国際化推進プランができるよう、ご協力とご理解をお願いしたい。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・会議資料の確認 ・出席者の確認 ・委員紹介 ・事務局紹介 ・審議会規則の説明
事務局	・それでは、市長から審議会本田会長に対し諮問書をお渡しさせていただくので、会長にお受け取りいただきたい。
《諮問》	<p>（高垣市長から本田会長へ第4次東広島市国際化推進プランの策定について諮問（諮問書手交））</p> <p>（諮問後 高垣市長は公務の都合により退席）</p>
事務局	・それでは、ここからは会長が議長となり、議事を進めていただく。
会長	・それでは議事を進める。議事（1）本市外国人市民の状況について、事務局からの説明を求める。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人の増加要因 ・各種統計資料 ・課題等
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・質問があれば伺う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・課題について、プランの実施課題は議事（２）の資料の通りとあるが、議事（２）で示される課題を総括したものという理解でよいのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・議事（２）でも説明させていただくが、これまでの現状や第３次国際化推進プランで事業を実施した中で、一部ではあるが課題として抽出したものを書かせていただいている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・主な課題は留学生の就労ということだが、東広島市内の日本人学生の就労についてはどういう傾向にあるか教えてほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人学生も留学生と同じ傾向で、東広島市に就職する割合はかなり低く、全体の卒業生のうち３％程度未満。広大では九州出身者が多いほか、大企業の立地する三大都市圏などに流出していると伺っている。先日の新聞報道にもあったように、広島県の人口流出が全国ワースト１であり、なかなか本市に残ってもらえていないのが現状。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、高齢者の増加が見込まれる中での外国人市民の年金加入率、年金を受け取れる状況なのかどうかについて把握しているか。また、外国人児童の不就学の状況についても聞きたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の場合、年金は転入手続きの際に国保（国民健康保険）、年金にも加入している。統計上ほぼ１００％に近いという状況。 ・就学の状況は小中学校までが市の管轄であり、外国人児童は、義務教育の対象外ではあるが、基本的に教育委員会から対象となる家庭へ呼びかけて学校に入学してもらっている。高校の状況は把握しきれていない。中学卒業後に高校に行くことができていない状況もあるかもしれない。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて議事（２）第３次東広島市国際化推進プラン実施事業の進捗状況（令和５年度分）について、事務局からの説明を求める。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第３次東広島市国際化推進プランの進捗状況の概要、結果、考察等 ・現状やこれまでの取組からみた今後の方向性案 ・コロナ禍における相談事業の考察
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・質問があれば伺う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションコーナーでの相談において、コロナ禍で特に増えたであろうと推測した労働環境や雇用の問題については、顕著な変化はないということであったが、今後、労働を前提に来日する外国人市民の増加が見込まれる中で、引き続き労働に関する相談窓口へのアクセスは課題となるだろう。まだまだ相談に至らない潜在的な問題があると思うので、今後もこういった分析は重要になると考えられる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・第３次東広島市国際化推進プラン実施事業について、全体８１の事業のうち令和２年度では「実施計画にないもの」が８事業ということだが、７３事業が実施された事業という認識でよいのか。 ・令和２年度は７３事業を行い８事業が実施計画になかった。令和３年度は、そ

	<p>の実施計画になかった 8 事業のうち 6 事業を実施計画としてカウントしたということか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その場合、実施事業数が増える要素はなかったのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で 8 1 事業あり、当該年度に実施予定がなかったものについて「実施計画にないもの」という分類にしている。 ・5 か年計画の中で順に実施していき、少しずつ「実施計画にないもの」の事業が減少している状況。 ・第 3 次国際化推進プラン策定時に設定した 8 1 事業の総数は変動しない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の進捗状況では、事業の実施パーセンテージ、関係人数、実施回数等が重要な指標になっている。課題や背景について説明いただいたが、実際はどうか。令和元年の実績を基に目標値を立てているが、コロナ禍で実績が落ちた状態が全般的に昨年度も続いている傾向に見える。現場の状況をより把握し、どういう課題があって、次にこういうことをやろうというところが見えれば、次につなげれる工夫が見えてくると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・交流系の事業に関してはコロナ禍でかなり参加者数等が減少し、昨年は軒並み実施はできたが、令和元年に計上した目標値は下回っている。その理由については広報不足など様々な見方もあるが分析が難しい面もある。どのように分析していくかは今後の課題。 ・全ての因果関係が分析できれば良いが、わかる範囲で目標値未達成理由を記載した。次のプラン策定時には、できるだけ個別事業ごとに検証したうえで、次の事業につなげていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店の多言語化について、多様性を活力にして本市の魅力をアピールするという点に関し、本市のように 100 以上の国の方が住む場所ではもっとアピールできると思う。もっとエッジを効かせて、飲食を通じて魅力を発信できるのではないか。この指標についてもう少し工夫していくことが良いのではないか。その方が国際化推進につながると思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な地域、国からお越しいただいているメリットを生かしながらインバウンドを含めて PR をしていきたい。次のプラン策定に向けてどのような事業を取り込むか庁内でも協議を重ねる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の課題の一つとして留学生の就労があげられていたが、留学生の人数が多いわりに、在留資格の「技術・人文知識・国際業務」人数が増えていない。この対策は現在の 8 1 事業に含まれているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第 3 次国際化推進プランには盛り込んでいない。 ・他の事例であるが、広島県商工労働局では、特定技能 2 号を目指す従業員がいる企業へ補助金を出したり、県内大学の留学生に県内企業が奨学金を出し、県内への人材定着を促進している。国や県と連携して何らかの施策を取り組んでいきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて議事（3）第 4 次東広島市国際化推進プランの策定方針について、事務局からの説明を求める。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・プラン策定の趣旨 ・新プランの基本的な考え方

	<ul style="list-style-type: none"> ・新プラン策定の視点（案） ・新プランの策定体制 ・新プランの策定スケジュール（概要） ・新プランの施策体系 ・10年後に目指す東広島市の姿
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・質問があれば伺う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・次期プランは第3次プランの補強、拡充ということで進められると思うが、基本目標Ⅰ、Ⅱはベースになる部分で揺るがせられない部分である。Ⅲは第3次国際化推進プランでは、人に視点をあてているが、次期プランの案では人と同時にイノベーションの視点がある。イノベーションは重要な柱だとは思いますが、これだけ外国人市民が増えている中で外国人から選んでもらえる基盤づくりは整っているのか。まずはそこを整えなければ難しいのではないかと懸念している。今からの議論になるのだと思うが、どのように人の暮らし、環境、迎え入れの観点からイノベーション、経済発展等、すこし色合いが違うものまで含めるのか伺いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市と広大がタウンアンドガウン構想を進めている中で、現状のままだと人口減少により活力が失われる危機感もあり、いまあるポテンシャルを活かして、いかに次の一手を打っていくかが重要と認識している。新たな時代に挑戦していくという意味合いで、各委員の意見を盛り込んだ上で次期プランにも反映していきたい。既存の受け入れ体制を充実していくのはもちろんだが、次の一步としてイノベーションと新しい都市構想の実現ということも盛り込んでいきたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育支援の充実に関することで、子どもの教育や日本語指導を進める中では保護者の意識の変容が重要だと感じているが、新プランの施策体系案の「Ⅰ－（３）日本語教育とICT活用によるコミュニケーション支援の充実」に含まれるものなのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「Ⅰ－（４）こどもの教育支援の充実」に含まれると思われる。現在でも外国人支援団体が外国人保護者を集めファイナンシャルプランナーを講師に招いて講座をしたりしている。将来の日本での教育費について説明する保護者向けの勉強会等も充実していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人保護者の日本文化、学校教育に対する考え方によっては、子供が学校で一所懸命頑張っても難しい部分もあるので、保護者へのサポートも含めてやっていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTに関する情報を持っている企業と連携し、ICT活用を重点的に進めるという考え方もあるのではないかと。やればやるほど新たな取組ができると思う。次期プランではもう少しそこに重点をおいてほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・5年後は今より情報技術も発達していると思うので、そういった視点からも検討していきたいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画や関連計画などとの整合性も図ってほしい。 ・施策体系案の基本目標Ⅲについては、本市は大学や優良企業を優遇していくというように捉えられる場合もある。本市は技能実習生なども多くいるので、誤

	解のない表現でプランを作成してほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・東広島市内での地域差について、私が住んでいる町の外国人は技能実習生がかなり多く、その外国人は西条地域に住む外国人と同じように支援が受けられているのかが気になった。 ・地域差についても考慮していただければと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の多くが外国人市民に向けたものであるが、国際交流ボランティアさんがもっと外国人市民と交流機会を持てるような施策を盛り込んでほしい。 ・一過性のイベントだけでなく、地域の学習活動など外国籍の保護者が孤立しないように地域と関わる機会をたくさん持てると良いと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「様々な主体が参画した推進体制の構築」の具体的な施策はどれも課題である。次期プランは大きなターニングポイントになるので、体制面についても積極的に議論ができるような素材を出していただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も外国人市民が増加することが見込まれる中で、市としてどういった取組をしていくのか、財政的な課題もあるが関係機関と協力しながらできることをしていきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて議事（４）外国人市民アンケート（案）について、事務局からの説明を求める。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人市民アンケート（案） ・質問設定
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・質問があれば伺う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・前回のアンケートと同じように行うと思うが、前回、回収率が 32%ということで、回答者の偏りなど問題はなかったのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・前回は、町別の人口比率、年齢別、在留資格別などで分けて発送したが、留学生からの回答が多い状況があった。今回もある程度バランスよくサンプルがとれるようなかたちで発送するが、回収自体はふたを開けてみないとわからない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・技能実習生には職場を通して回答を促すとより回収できると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・1000 通というのは統計学上のサンプルとしての基礎数で、回答率を含めて一つの調査だと思うが、できるだけ普遍的に多くの人たちの実情を知ることと重きを置くのであれば、外国人コミュニティ、監理組合、事業所等に協力いただく必要があると思う。関心を持っていただくためにも、サンプルの取り方、サンプル数を含めて、柔軟に工夫をしてほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・サンプル数については、予算の関係もあって増やすのは難しいが、実情を知ることでは、通常から幅広く様々な人の意見を聴いている状況である。次期プラン策定においては、関係団体や関係機関などのヒアリングも予定している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・次期プランでは、留学生をはじめとした就労促進の強化ということだが、アンケート案をみると、仕事に関する質問が少ない。働いていない人への設問もあった方がよいと思う。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容については検討させていただき、報告する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけ多くの方の意見を吸い上げることは重要。外国人市民、教育現場、自治協議会、それぞれ実感されていることがあると思うので、たくさんの意見を吸い上げ次期プランをまとめていただけると有益なものになると思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出された意見をいかして、アンケート実施に向けて作業を進めてもらいたい。 ・ これで議事は終了とする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後のスケジュール（案） ・ 事務連絡 ・ 閉会